

2025年度の主な事業実績

2025/3/22

白岡緑と土の会 親睦会 「ひこべえの森の将来を語る会」を寺子屋 COCO で実施

会員と関係者 13名参加

会員同志の近況報告と親睦、ひこべえの森に関することばかりでなく、自然保護一般のことに関するアウトドア活動についても話題

2025/4/1～

会のグループ LINE の新規開設 現在グループ構成者 18名

・2025年3月まで400件近くの投稿ややりとりがあり会員間の貴重なコミュニケーション手段となっている

（・当検討協議会の委員の皆様の参加も希望）

2025/9月～12月

森の東側竹林付近の第1ビートルベッド周りの枯損木や灌木処理・特に朽ちた竹類の除去
このエリアは森の景観上も問題であった。

2025年4月～随時

（最重要）散策路の設置・整備

・市民の様々な森の利用形態を想定すると、どの利用に関しても安全な散策路設置及びメンテナンスは重要になっている。

2025/3月中旬～4月中旬

カタクリ群生地への立ち入り制限のためのロープの設置と取り外し。

・十数年前に実生から育てたカタクリが今では200株以上に増え群生している。それに伴い、群生地エリアへの踏み込みが目立つ。花期の間のみ、簡易的なロープで立ち入りを制限した。

2025年4月

大きなエゴノキの伐採

南東側水田近くのエゴノキの伐採

水田近くまで枝を張り出し、水田の光環境に影響を及ぼすため水田所有者の依頼により伐採

25/5/11

森のお茶会

- ・森内の竹の処理で伐採した竹を茶碗にして抹茶楽しむ会を実施
- ・自然と文化の関わり合いを、会員で裏千家の茶人のお点前で茶の湯を通して楽しむ
- ・伐採した孟宗竹を茶の椀にして使用

5/19 2025

- ・ヒルズマルシェにおける竹ランタン作りワークショップ実施に協力
- 伐採済みで廃棄予定の竹を提供
- ワークショップ参加者にひこべえの森（竹の出处）と会員の勧誘
- ・その他令和カフェでも同様の竹ランタン作りワークショップの協力

12/7 2025

- ・第2ビートルベッド近くの胸高直径約60センチ、長さ約30メートルのコナラの木の新伐採。主にカシノナガキクイムシによると思われる枯死による危険排除のため伐採。
- 会員のツリークライマーとその仲間達による伐採。
- 通常であればクレーン車のバスケットから上部から切り落としてゆくプロの作業であったが、ツリークライマーの同等の作業により行われた。
- ・今後、この林床に横たわるコナラの大木をどう処理するか検討中。
- 森から運び出して処理するための費用は十数万かかるとのことでありこの費用の負担は不可能なので、このまま放置して微生物や外的環境による分解の過程を経て土壌に戻る様子を観察する「生きた教材」に使用することを検討中

12/13 2025

ひこべえの森、冬の集い開催支援

- ・ひこべえの森における最大のイベントの開催支援。
- 子供達への環境教育への入り口として利用されるイベントとしては最も有用で重要なイベント。会としても最大限の協力態勢を毎年取っている。

3/10 2026

白岡市環境課と連携協力して伐採竹の普通トラックによる運び出し実施。

これまで物置小屋（道具小屋）付近に散在していた殆どの朽ちた竹を運び出した。

これにより森内の景観はかなり美しくなった。

今後は適切な竹林管理をどのように行うか検討が必要

3/22 2026

会員の奥野さんによるカタクリを中心とした自然観察会実施

その他・随時

森の保全作業中に会える森の訪問者に、森の説明や会の活動について随時説明